

京都市市民生活実感調査 調査票

生活実感

質 問		選 択 肢				
		a	b	c	d	e
質問内容について、実感やイメージがわからない場合は、空欄のままにしておいてください。		a	b	c	d	e
環境	Q1. 「きれいな空気、清らかな川、静かなまち」など、よい環境が保たれている。	a	b	c	d	e
	Q2. 太陽光発電や使用済み天ぷら油の燃料化など、環境にやさしい技術やエネルギーの活用が進んでいる。	a	b	c	d	e
	Q3. 京都では、環境にやさしい行動を当たり前のこととして実践するひとや事業者が増えている。	a	b	c	d	e
男女共同参画 人権	Q4. くらしのなかで互いの人権を尊重し合う習慣と行動が広がっている。	a	b	c	d	e
	Q5. 女性も男性も、仕事と生活（家庭や地域活動など）をバランスよく充実できる社会になってきている。	a	b	c	d	e
青少年の成長と参加	Q6. 青少年が社会体験を通して「生きる力」を伸ばせている。	a	b	c	d	e
	Q7. 青少年が自分の生き方や将来像を思い描けている。	a	b	c	d	e
	Q8. 青少年の成長を支援する社会環境と、青少年を受け入れる居場所がある。	a	b	c	d	e
市民生活と コミュニティ	Q9. 地域の一員として安心してくらせるまちになっている。	a	b	c	d	e
	Q10. 多様なNPO※やボランティア組織と町内会・自治会などの地域の組織が協力して活動している。 ※公益活動を行う市民活動団体の一種	a	b	c	d	e
生活の安全	Q11. 悪質商法などによる消費者被害を防止し、被害を救済するしくみが整っている。	a	b	c	d	e
	Q12. 消費生活に関する情報や知識を備えた自立した消費者が増えている。	a	b	c	d	e
文化	Q13. 京都では、文化芸術にかかわる活動が盛んである。	a	b	c	d	e
	Q14. 文化・芸術活動によって、京都のまち全体が活気づいている。	a	b	c	d	e
スポーツ	Q15. 気軽に体を動かしたり、スポーツやレクリエーションを楽しんだりする機会がある。	a	b	c	d	e
	Q16. スポーツイベントや運動会、レクリエーションなどの活動を、スタッフやボランティアとして支えるひとが増えている。	a	b	c	d	e

質 問		選 択 肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちら とも 言えない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
産業・商業	Q17. 京都では、価値を高めるために工夫したものづくりが行われている。	a	b	c	d	e
	Q18. 京都の商業は盛んで楽しく買物ができ、元気な商業者が多い。	a	b	c	d	e
	Q19. 働くことを希望するひとがいきいきと働ける場を得る機会がある。	a	b	c	d	e
	Q20. ソーシャルビジネス(社会的企業)*が育ってきている。 ※社会問題(まちづくり, 少子高齢化, 環境問題など)の解決を目的として収益事業に取り組む事業体	a	b	c	d	e
観光	Q21. 京都は、観光客にとって質の高い観光都市である。	a	b	c	d	e
	Q22. 京都は、市民にとってくらしやすい観光都市である。	a	b	c	d	e
	Q23. 京都市民は、観光客を温かく迎えるなど、京都観光の振興に協力的である。	a	b	c	d	e
農林業	Q24. 京都の農林業が魅力を増し、後継者や新たな担い手が育っている。	a	b	c	d	e
	Q25. 市民農園や森林を守る運動、学校の体験学習などにより、京都の農林業が身近になってきている。	a	b	c	d	e
大学	Q26. 京都は、「大学のまち」として学びの環境が充実し、多様な伝統文化芸術等に触れる機会に恵まれている。	a	b	c	d	e
	Q27. 京都の大学は、世界に貢献する高い研究成果を上げている。	a	b	c	d	e
	Q28. 大学の人材や研究成果は、産業の活性化と雇用の創出に役立ち、地域の発展にもつながっている。	a	b	c	d	e
国際化	Q29. 京都は、文化資産の継承、環境にやさしい取組などを通して、平和都市として国際社会に貢献している。	a	b	c	d	e
	Q30. 京都では、市民、民間レベルでのさまざまな国際交流が盛んである。	a	b	c	d	e
子育て支援	Q31. 京都では、子どものいのちと人権が大切にされている。	a	b	c	d	e
	Q32. 働き方の見直しや男性の育児参加など、仕事と子育ての両立に取り組むひとや企業が増えている。	a	b	c	d	e
障害者福祉	Q33. 障害への理解が進み、障害のあるひともないひとも、認め合い、支え合ってくらせるまちになっている。	a	b	c	d	e

質 問		選 択 肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちら とも 言えない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
障害者福祉	Q34. バリアフリー※などの生活しやすい社会環境の整備が進み、くらしやすいまちになっている。 ※高齢者や障害のあるひとが社会生活をしていくうえでの障壁（バリア）を除去し、ハンディキャップなく生活できるようにすること。	a	b	c	d	e
地域福祉	Q35. 社会的に弱い立場にある高齢者や障害のあるひとが、地域ぐるみで見守られている。	a	b	c	d	e
	Q36. 地域において福祉にかかわる民生委員などのボランティアのひとびとが活発に活動している。	a	b	c	d	e
高齢者福祉	Q37. 高齢者の知恵や経験、技能が社会に生かされている。	a	b	c	d	e
	Q38. 高齢者が地域で見守られ支えられて、安心してくらするまちになっている。	a	b	c	d	e
	Q39. 高齢社会が進展するなか、介護職が重要な仕事となっている。	a	b	c	d	e
保健衛生・医療	Q40. 利用しやすく頼れる医療や検診の機関がある。	a	b	c	d	e
	Q41. 公共の場では禁煙が進んでいる。	a	b	c	d	e
学校教育	Q42. 保護者や地域のひとびとが学校のさまざまな活動に参画するなど、地域ぐるみの教育が進んでいる。	a	b	c	d	e
	Q43. 学校の先生は、他校の先生、保護者や地域のひとびとと連携して、子どもの教育に取り組んでいる。	a	b	c	d	e
	Q44. 京都ならではの伝統文化や環境の教育が、社会を担える人材の育成に役立っている。	a	b	c	d	e
生涯学習	Q45. 生涯にわたって自ら学習したことが、仕事や社会活動に役立っている。	a	b	c	d	e
	Q46. 子どもを社会の宝として社会全体で育む意識と行動が広がっている。	a	b	c	d	e
歩くまち	Q47. 歩いてこそ魅力を満喫できるまちとなっている。	a	b	c	d	e
	Q48. 地下鉄、市バスは、市民生活に役立っている。	a	b	c	d	e
	Q49. 駐輪場の整備や自転車の利用マナーの向上により、自転車と歩行者が共存できている。	a	b	c	d	e
都市機能	Q50. 買物などの日常生活には、徒歩や自転車、公共交通が便利である。	a	b	c	d	e

質 問		選 択 肢				
		そう思う	どちらか という そう思う	どちら とも 言えない	どちらか という そう 思わない	そう 思わない
都市機能	Q51. 身近な地域で、自主的なまちづくり活動が進んでいる。	a	b	c	d	e
景観	Q52. 京都の個性的な町並み景観が守られている。	a	b	c	d	e
	Q53. 京都のくらしや文化を伝えている京町家が継承されている。	a	b	c	d	e
	Q54. 三山の山並みなどの自然風景は、美しく魅力がある。	a	b	c	d	e
建築物	Q55. バリアフリー化された建物が増えている。	a	b	c	d	e
	Q56. 身近な地域にある細い道は、地震や火災などの災害時に被害が大きくなならないよう改善されている。	a	b	c	d	e
住宅	Q57. 地域の行事や自治会活動に、以前から住んでいるひと、新しく転入してきたひと、分け隔てなく参加している。	a	b	c	d	e
	Q58. 低所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分に確保されている。	a	b	c	d	e
道と緑	Q59. 京都は緑が豊かである。	a	b	c	d	e
	Q60. 道路や公園などがバランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えている。	a	b	c	d	e
消防・防災	Q61. 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。	a	b	c	d	e
	Q62. 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。	a	b	c	d	e
くらしの水	Q63. 京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。	a	b	c	d	e
	Q64. 京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。	a	b	c	d	e
	Q65. 京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。	a	b	c	d	e

## 政策重要度

京都市では、次のような各分野の政策に取り組んでいます。

この中で、あなたにとって今、特に大切と思われる分野について、5つまで選んで「○欄」に○を付けてください。

分野・政策名	○欄	分野・政策名	○欄
1 環境 [自然環境を気遣う「環境にやさしいまち」をめざす]		15 地域福祉 [自治・協働により自立を実現し、地域の福祉力をつむぎ、高める]	
2 人権・男女共同参画 [ひとりひとりが尊重される社会をめざす]		16 高齢者福祉 [「健康長寿のまち・京都」をみんなでつくる]	
3 青少年の成長と参加 [若き市民とともに未来の京都を築く]		17 保健衛生・医療 [いきいきと健やかな「笑顔・健康都市」京都を実現する]	
4 市民生活とコミュニティ [住民同士がつながり、おもいやり、地域のみんなで築くくらしやすいまちをめざす]		18 学校教育 [市民ぐるみで子どもたちに「生きる力」を育むまちをつくる]	
5 市民生活の安全 [地域が支え合う、だれもが安心してくらせるまちをめざす]		19 生涯学習 [まち全体をまなびやに 大人も子どもも学び育つまちをつくる]	
6 文化 [世界的な文化芸術都市として創生することをめざす]		20 歩くまち [ひとと公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現を図る]	
7 スポーツ [スポーツやレクリエーションに親しむ機会に恵まれたまちをめざす]		21 土地利用と都市機能配置 [地域ごとに魅力があり、持続的な都市活動を支えるエコ・コンパクトな都市をつくる]	
8 産業・商業 [新たな価値をつくる都市をめざす]		22 景観 [1200年の歴史・文化を実感でき、世界のひとびとを魅了し続けるまちとなる]	
9 観光 [いよいよ旅の本質へ 世界が共感する観光都市をめざす]		23 建築物 [建築物の安全の確保と質の向上で、ひとにやさしく、安心なまちをつくる]	
10 農林業 [ひとと生命と環境を育む京の農林業をめざす]		24 住宅 [ひとがつながる 未来につなぐ 京都らしいすまい・まちづくりを継承・発展させる]	
11 大学 [大学の集積が都市の活力を支え高めるまちをめざす]		25 道と緑 [風土や歴史と調和した道と緑を創造する]	
12 国際化 [住むひとにも、訪れるひとにも魅力的な国際都市をめざす]		26 消防・防災 [災害に強く安心して住み続けられる「安心都市・京都」をめざす]	
13 子育て支援 [市民ぐるみ・地域ぐるみで子どもを共に育むまちづくりを進める]		27 くらしの水 [ひと まち くらしを支える京の水をあすへつなぐ]	
14 障害者福祉 [障害のあるひともないひとも、すべてのひとが違いを認め合い、支え合うまちづくりを推進する]			

※ [ ]は、京都市基本計画の各政策分野でめざす方向性を示すキャッチフレーズです。

## 市政関心度

あなたは京都市政に関心がありますか。次の中から1つ選び○を付けてください。

- |              |             |             |
|--------------|-------------|-------------|
| 1. 関心がある     | 2. 少しは関心がある | 3. あまり関心がない |
| 4. まったく関心がない | 5. わからない    |             |

## 幸福実感

今、あなたは幸せだと思いますか。次の中から1つ選び○を付けてください。

- |                     |                  |              |
|---------------------|------------------|--------------|
| 1. とても幸せだと思う        | 2. どちらかという幸せだと思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. どちらかという幸せではないと思う | 5. 不幸せだと思う       |              |

## 自由記述

市に望むこと、このアンケートに関すること、その他何でも結構です。ご意見、ご提案がございましたら、ご記入ください。（特に、アンケートで無回答、「そう思わない」又は「どちらとも言えない」とのご回答があった場合、その理由をお聞かせいただければ幸いです。）


◇ 最後に、あなたご自身のことについてお尋ねします。次の①～⑤の各項目について、該当する番号を1つ選び○を付けてください。

### ① 性別

1. 男      2. 女

### ② 年齢

1. 20歳代      2. 30歳代      3. 40歳代      4. 50歳代  
5. 60歳代      6. 70歳代      7. 80歳以上

### ③ 職業

1. 自営業・自由業      2. 会社員・公務員等給与所得者      3. 主婦・主夫  
4. 学生      5. 無職      6. その他（                      ）

### ④ 居住区

1. 北区      2. 上京区      3. 左京区      4. 中京区      5. 東山区      6. 山科区  
7. 下京区      8. 南区      9. 右京区      10. 西京区      11. 伏見区

### ⑤ 京都市での居住年数

1. 5年未満      2. 5～11年未満      3. 11～31年未満      4. 31年以上

アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて5月28日（月）までに投函をお願いいたします。